

前回定例会(平成20年11月5日)以降の行政の動き

平成20年12月3日
新 潟 県

1 安全協定に基づく状況確認

○ 平成20年11月11日(月例状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 1～7号機運転保守状況について(10月分)
- ・ 使用済燃料の保管状況、放射性廃棄物管理状況、放射線業務従事者の線量管理状況(いずれも第2四半期分)
- ・ 1号機海水熱交換器建屋水漏れ現場
- ・ 7号機燃料装荷現場、天井クレーン耐震強化工事現場
- ・ 6号機排気筒サンプリング配管点検現場

○ 平成20年11月7日(状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 7号機燃料装荷に関わる安全機能等の確認状況(制御棒カップリングチェック等)

○ 平成20年11月27日(状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 地震時プラント診断訓練の様子をBWR運転訓練センターで確認

○ 平成20年11月28日(状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 7号機機器漏えい確認状況
- ・ 7号機制御棒駆動系機能検査
- ・ 7号機火災現場

2 技術委員会の開催

[技術委員会]

○ 平成20年11月19日

<議題>

- ・ 6号機制御棒結合不良の原因と対策について
- ・ 6, 7号機低圧タービン動翼損傷の原因と対策について

[技術委員会としての結論]

- ・ 6号機の制御棒結合不良の原因と、作業手順の見直しや設備の改良という東京電力の再発防止対策について、妥当であると了承。
- ・ 6, 7号機低圧タービン動翼損傷の原因と、損傷した動翼は全て新品に交換すること、運転方法の見直しや点検回数を増やし、損傷を早期に発見するという東京電力の当面の対応について妥当と了承。
- ・ 動翼の設計変更など、根本的な対応の詳細については、長期の検討を要することから、その段階で改めて報告を受けることとした。

※ 小委員会におけるこれまでの議論の状況について説明を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・ 技術的な問題をわかりやすく説明することは大切であるが、不正確な表現とならないようにすることが必要。
- ・ 県知事に「伝わっていないのはやっていないのと一緒に」と言われてしまうと立つ瀬がない。委員の協力を得て県がわかりやすく説明する必要がある。

[地震、地質・地盤に関する小委員会]

○ 平成20年11月5日

<議題>

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所周辺の地質調査結果について（片貝断層南方延長）
- ・ 新潟県中越沖地震の観測記録と基準地震動について
- ・ 地震、地質・地盤に関する小委員会の議論の状況について

<議事概要>

- ・ 片貝断層南方延長部の調査結果、基準地震動にかかる委員質問への回答について説明されたが、特に意見は出なかった。

※ 真殿坂断層の活動性の評価にかかる東京電力の層序解釈に対して出された委員の意見については、東京電力が次回以降回答することとなった。

○ 平成20年12月2日

<議題>

- ・ 原子力安全・保安院の中間報告書（敷地周辺の地質・地盤構造、基準地震動の評価）について
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所周辺の地質調査結果について（東京電力）

<議事概要>

【発電所周辺の地質構造および基準地震動の評価について】

- ・ 原子力安全・保安院が、設計時の想定を超える揺れとなった要因、海域・陸域の活断層、基準地震動に対する評価結果を説明。
- ・ 一部の委員から、F-B断層北方延長部の断層の存在可能性について自身の仮説を示して「M7.5を想定すべき」と主張があったが、他の委員から、海域の地下探査の結果では「仮説」を裏付ける構造がみられないため、「F-B断層北方延長部には断層は存在しない」との意見が相次いだ。

【発電所周辺の地質調査について】

- ・ 現地調査に参加した委員から、敷地周辺の真殿坂断層は発電所の安全性に影響を与えるものではないとの報告がなされ、異論は出なかった。

※ 11月22日、発電所敷地北側の露頭標高位置について現地調査を実施

[設備健全性、耐震安全性に関する小委員会]

○ 平成20年11月12日

<議題>

- ・ 各号機の点検・解析の進捗状況について（東京電力）
- ・ 原子力安全・保安院による7号機燃料装荷前の系統機能試験の評価について
- ・ 7号機建物・構築物の健全性評価に係る報告について（原子力安全・保安院）
- ・ 設備健全性、耐震安全性に関する小委員会の議論の状況について

<議事概要>

【系統試験の進捗状況について】

- ・ 原子力安全・保安院は、これまでの系統試験の結果と保安規定に基づく安全性確認の結果に基づき、燃料を装荷しての系統試験の実施は安全上の問題がないと説明。

- ・ 東京電力は、燃料装荷作業を実施していること、燃料装荷後の系統試験は未臨界状態で実施することを説明。

【7号機建物・構築物の健全性評価結果について】

- ・ 原子力安全・保安院は、国のWGでの審議や現地調査、立ち入り検査などを踏まえ、7号機の建物・構築物の健全性は確保されていると判断したと説明。

○ 平成20年11月26日

＜議題＞

- ・ 各号機の点検・解析の進捗状況について
- ・ 新基準地震動に対する7号機原子炉建屋の耐震安全性評価について
- ・ 新基準地震動に対する7号機設備の耐震安全性評価について

＜議事概要＞

【7号機の基準地震動に対する耐震安全性評価結果について】

- ・ 東京電力が、原子炉建屋、建屋内の安全上重要な設備について、新たな基準地震動の揺れにより掛かる力を計算した結果、耐震安全性に問題なかったことを説明。

※ 他の設備（排気筒等）、タービン建屋については次回以降に議論する。

【委員からの質問への回答について】

- ・ 東京電力が、6号機天井クレーンの車輪駆動部分の継手が壊れた原因、地震時に発生する事象を想定した原子炉運転員の訓練状況について説明。委員から、運転員の訓練について詳細を小委員会の場で説明してはどうかとの意見があった。

※ 今後の予定 「設備健全性、耐震安全性に関する小委員会」 12月12日
「地震、地質・地盤に関する小委員会」 12月17日

□安全管理の徹底の申し入れ（12月2日）

柏崎刈羽原子力発電所における火災や作業員の負傷や事故などが多発していることから、県防災局長が東京電力株式会社に対して申し入れを行いました。申し入れ内容は別紙を参照願います。

□意見交換会を開催します（12月23日）

県技術委員会の2つの小委員会が、柏崎刈羽原子力発電所の耐震安全性について、これまで行ってきた議論の内容を、県民の皆さんにお知らせするとともに、県民の皆さんから普段疑問に感じていることなどをお聞きする会を開催します。